

## 公立病院改革プランの概要

団 体 名	新潟県						
プランの名称	新潟県病院事業の取組方針						
策 定 日	平成	21年	9月	30日			
対 象 期 間	平成	21年度	～	平成	23年度		
病院の現状	病 院 名	新潟県立新発田病院					
	所 在 地	新潟県新発田市本町1-2-8					
	病 床 数	一般:429床 精神:45床 感染症:4床 合計:478床					
	診 療 科 目	内科、精神科、神経内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、口腔外科、循環器内科					
公立病院として今後果たすべき役割(概要) (注)詳細は別紙添付	<p>県北の広域基幹病院として優しく安全で信頼される病院を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県北における県立病院としての役割を認識し、救急医療の強化及び高度医療の充実を図る。</li> <li>・患者の視点に立った医療を行い、住民に信頼される病院の実現に努める。</li> <li>・地域の医療機関との機能分担を明確にし連携を図りながら地域完結型医療を目指す。</li> <li>・全職員が効率的な病院運営に努め、病院経営の安定化を図る。</li> <li>・医療事故防止対策を徹底する。</li> <li>・次代を担う臨床研修医はじめ医療従事者の教育を充実させ、一流の教育病院であることを目指す。</li> </ul>						
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別紙添付	<p>効率的な運営を行った上で、病院負担が困難な経費や病院負担とすることが適当でない経費について、一定の基準に従って県の一般会計が負担する。</p> <p>(主なもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救命救急センターの運営に要する経費の一部</li> <li>・精神神経科部門の経費の一部</li> <li>・総合病院高額器械器械導入負担の一部</li> <li>・産婦人科病棟周産期医療患者に係る経費の一部</li> </ul>						
経営効率化に係る計画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
	経常収支比率	93.6	94.1	94.9	95.1	96.4	
	職員給与費比率	57.2	58.5	57.9	57.9	57.9	
	病床利用率	95.8	94.1	95.0	95.0	95.0	
	医業収支比率	85.4	84.6	86.0	86.3	87.5	
上記目標数値設定の考え方	<p style="text-align: center;">平成21年度当初予算をベースに設定</p> <p style="text-align: center;">(経常黒字化の目標年度: 年度)</p>						

				団体名 (病院名)	新潟県 (新潟県立新発田病院)		
公立病院としての医療機能に係る 数値目標(主なもの)		19年度実績	20年度実績	21年度	22年度	23年度	備考
経営効率化に係る計画	数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期	民間的経営手法の導入	BSC(バランス・スコアカード)を活用した戦略的マネジメントシステムの導入				
		事業規模・形態の見直し					
		経費削減・抑制対策	光熱水費等の経費削減の推進				
		収入増加・確保対策	地域医療支援病院入院診療加算の算定 地域の中核病院として十分な人員配置と設備を備え、産科、小児科、精神科等を含む急性期医療を提供できる病院を評価する入院時医学管理加算の算定を目指す。 診療情報提供料( )の算定を伸ばし収益増を図る。 DPCの導入(H22年度～対象病院)				
		その他	地域連携センター機能の充実によるかかりつけ医の推進と、かかりつけ医の要請による精密な検査、入院・手術など急性期医療が必要な患者に対する医療の提供 地域がん診療連携拠点病院としての機能充実(院内がん登録の促進、がん相談支援センターの設置等)				
各年度の収支計画		別紙のとおり					
その他の特記事項	病床利用率の状況	18年度	85.8%	19年度	95.8%	20年度	94.1%
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等	平成18年11月移転開院					

団体名 (病院名)	新潟県 (新潟県立新発田病院)
--------------	--------------------

再編・ネットワーク化に係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	県北医療圏の公立病院( )内数値は、合計病床数) [新発田市] 県立新発田(478)、県立リウマチセンター(100) [村上市] 県立坂町(150)		
	都道府県医療計画等における今後の方向性	公立・公的病院のそれぞれの役割を明確化し、機能分担・連携を推進する。		
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期>	<内容>  県北の広域基幹病院として、地域の医療機関との機能分担を明確にし、連携を図りながら地域完結型医療を目指す。	
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 (該当箇所に)	<input type="checkbox"/> 公営企業法財務適用 <input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 一部事務組合・広域連合		
	経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所に) 討中の場合は複数可)	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 民間譲渡 <input type="checkbox"/> 診療所化 <input type="checkbox"/> 老健施設など、医療機関以外の事業形態への移行		
	経営形態見直し計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期>	<内容>	
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制 (委員会等を設置する場合その概要)	県病院局ホームページ上で公表 各病院における取組や収支見込みについては、四半期ごとに点検し、必要に応じて修正を加えることとしている。		
	点検・評価の時期(毎年 月 頃等)	四半期ごとに点検・評価を行う。		
その他特記事項				

(別紙)

団体名  
(病院名)新潟県  
(新潟県立新発田病院)

## 1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度					
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度	23年度
収 入	1. 医 業 収 益 a	8,617	10,413	10,797	11,021	11,014	11,014
	(1) 料 金 収 入	8,296	9,761	10,095	10,436	10,436	10,436
	(2) そ の 他	321	652	702	585	578	578
	うち他会計負担金	174	365	423	308	300	300
	2. 医 業 外 収 益	1,164	1,769	1,874	1,845	1,772	1,752
	(1) 他会計負担金・補助金	1,009	1,559	1,706	1,613	1,581	1,561
	(2) 国 ( 県 ) 補 助 金	13	19	25	23	23	23
	(3) そ の 他	142	191	143	209	168	168
	経 常 収 益 (A)	9,781	12,182	12,671	12,866	12,786	12,766
	支 出	1. 医 業 費 用 b	9,927	12,200	12,765	12,816	12,768
(1) 職 員 給 与 費 c		5,747	5,953	6,315	6,376	6,376	6,376
(2) 材 料 費		2,774	3,290	3,407	3,336	3,336	3,336
(3) 経 費		983	1,227	1,405	1,469	1,433	1,433
(4) 減 価 償 却 費		264	1,618	1,592	1,572	1,560	1,381
(5) そ の 他		159	112	46	63	63	63
2. 医 業 外 費 用		496	810	697	736	675	652
(1) 支 払 利 息		299	541	486	477	457	434
(2) そ の 他		197	269	211	259	218	218
経 常 費 用 (B)		10,423	13,010	13,462	13,552	13,443	13,241
経 常 損 益 (A) - (B) (C)	-642	-828	-791	-686	-657	-475	
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)			34			
	2. 特 別 損 失 (E)						
	特 別 損 益 (D) - (E) (F)	0	0	34	0	0	0
純 損 益 (C) + (F)	-642	-828	-757	-686	-657	-475	
累 積 欠 損 金 (G)	4,184	5,012	5,769	6,455	7,112	7,587	
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)						
	流 動 負 債 (イ)						
	うち一時借入金	病院ごとの計画なし 新潟県病院事業会計(15病院計)「収支計画」のとおり					
	翌年度繰越財源(ウ)						
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)						
	不良債務(オ) 差引{(イ)-(エ)}-{(ア)-(ウ)} (オ)	0	0	0	0	0	0
単 年 度 資 金 不 足 額 ( )							
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	93.8	93.6	94.1	94.9	95.1	96.4	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	86.8	85.4	84.6	86.0	86.3	87.5	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	66.7	57.2	58.5	57.9	57.9	57.9	
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)							
地方財政法上の資金不足の割合 $\frac{(H)}{a} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
地方公共団体の財政の健全化に関する法律上の資 金不足比率							
病 床 利 用 率	85.8	95.8	94.1	95.0	95.0	95.0	

( )N年度における単年度資金不足額については、次の算式により算出すること。

「N年度 単年度資金不足額」= (「N年度の不良債務額」- 「N-1年度の不良債務額」)

・不良債務額が負の数となる場合(不良債務が発生しない場合)においても負の数で上記単年度資金不足額を算出すること

例)「22年度単年度資金不足額 30百万円」= (「22年度不良債務額 20百万円」- 「21年度不良債務額10百万円」)

団体名 (病院名)	新潟県 (新潟県立新発田病院)
--------------	--------------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		年度					
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度	23年度
収 入	1. 企業債	11,638	566	64	96	39	39
	2. 他会計出資金						
	3. 他会計負担金	1,188	282	247	365	538	437
	4. 他会計借入金		196				
	5. 他会計補助金		9	2			
	6. 国(県)補助金	18		2			
	7. その他	258	1		1	2	2
	収入計 (a)	13,102	1,054	315	462	579	478
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)						
	前年度許可債で当年度借入分 (c)						
純計(a) - {(b) + (c)} (A)	13,102	1,054	315	462	579	478	
支 出	1. 建設改良費	13,014	56	71	103	46	45
	2. 企業債償還金	368	1,473	1,482	1,447	1,454	1,180
	3. 他会計長期借入金返還金						
	4. その他	1	4	4	4	5	5
支出計 (B)	13,383	1,533	1,557	1,554	1,505	1,230	
差引不足額 (B) - (A) (C)	281	479	1,242	1,092	926	752	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	281	479	1,242	1,092	926	752
	2. 利益剰余金処分量						
	3. 繰越工事資金						
	4. その他						
計 (D)	281	479	1,242	1,092	926	752	
補てん財源不足額 (C) - (D) (E)	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)							
実質財源不足額 (E) - (F)	0	0	0	0	0	0	

- 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度	23年度
収益的収支	(121,050)	(203,053)	(212,874)	(186,649)	(182,575)	(180,537)
	1,183,791	1,923,900	2,139,123	1,822,741	1,782,955	1,763,058
資本的収支	(920,996)	(14,143)	(7,713)	(0)	(0)	(0)
	1,187,751	291,382	248,728	364,517	537,450	436,698
合計	(1,042,046)	(217,196)	(220,587)	(186,649)	(182,575)	(180,537)
	2,371,542	2,215,282	2,387,851	2,187,258	2,320,405	2,199,756

(注)

- ( )内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。